

第 1 号議案 令和 4 年 (2022) 年度事業報告

認定 特定非営利活動法人 おおいた成年後見権利擁護支援センター

【事業報告】 ★バトンカフェは、8 月末まで日本財団の助成金を活用。

1. 成年後見事業

(1) 法人後見事業立上げ準備と運営のアドバイス並びに法人後見事業の運営・管理並びに委託

(2) バトン法人後見事業

【審査会の開催】

① 9 月 30 日 ⑩案件の担当者専任

【受任件数： 10 件】

a 法人が財産管理を登録者の法人後見支援員（市民後見人）が身上の保護担当方式

- ① 母親申立 津保佐類型（知的） 50 代 男性 津在宅（独居）代理権付与
- ② 本人申立 津補助類型（精神） 60 代 女性 因精神科病院（同意見・代理権付与
- ③ 本人申立 津補助類型（精神） 70 代 女性 白有料型老人ホーム 代理権付与
- ④ 従姉妹申立 津後見類型（精神） 70 代 女性 因精神科病院
- ⑤ 本人申立 金補助類型（認） 80 代 男性 金在宅（アパート独居）同意権付与
- ⑥ 実兄申立 白後見類型（知的） 70 代 女性 白障害者施設（親族後見から交代）
- ⑦ 実妹申立 白後見類型（知的） 70 代 女性 白障害者施設
- ⑧ 長男申立 津後見類型（認） 70 代 女性 白特養施設
- ⑨ 市長申立 津後見類型（認） 70 代 男性 因精神科病院
- ⑩ 甥申立て 津後見類型（認） 70 代 女性 津特養施設

【支援方法別(延件数)】

電話等	訪問	来所	受診同行	メール LINE	郵送	家族支援	本人活動支援	担当者会議等	その他	合計
689	316	18	64	64	68	52	4	28	97	1,382

【申立て相談受付中：行政職員より 2 件・障害者施設より 1 件・ヘルパー事業所より 1 件】

2. 権利擁護支援事業

①バトン市民後見人養成講座

目的：認知症や障がいなどで判断能力が低下した方の権利と財産を守るため、成年後見制度の普及・啓発ならびに活用支援と意思決定支援の重要性の認識を深め、質の高い権利擁護支援者の育成を図るため。

*昨年度の再受講希望者が多く、今年度は補講という形式で、オンライン方式で開催。

日程は、受講者の都合に合わせて、1 コマ終了ごとにレポート提出を確認してもらい、次のコマの URL をメール添付で送る方式です。47 コマ 75 時間 受講者：10 人 修了者 5 人

権利擁護支援フォーラムの開催なし。

② 成年後見制度に関する相談(津久見市社協)

《津久見相談ブース》*1回/月、第4水曜日 13:30~15:30

地域	臼杵市	津久見市	大分市	別府市	佐伯市	県外・未定	合計
電話	3	4	6	0	1	1	15
来所	5	9	0	0	0	0	14
合計	8	13	6	0	1	1	29

* 今年度開催回数：12回（累計回数60回、累計相談件数146件）

★バトン何でも相談会 10時~12時

⑥6月25日(土) 場所：大分葬会館住吉 相談件数：7件

⑦9月17日(土) 場所：大分葬会館住吉 相談件数：7件

⑧令和5年1月21日(土) 場所：大分葬会館住吉 相談件数：4件 / 合計18件 / 累計48件

弁護士、司法書士、税理士、社会福祉士、精神保健福祉士、行政書士、保健師、看護師
社会保険労務士、認知症ケア専門士、消費生活専門相談員、主任介護支援専門員等々各種専門職
が相談内容に応じてチームで相談を受けました。

開催回数3回 相談件数18件（大分市12件・日出町2件・由布市1件・津久見市1件・臼杵市2件）

累計開催回数8回 累計相談件数48件

【地域別】大分市29件、臼杵市9件、津久見市5件、日出町3件、別府市1件、由布市1件

【年齢別】10~20代1人、30~40代9人、50~60代18人、70~80代20人

【満足度】満足・充分満足が100%

相談内容は、障害者手帳と年金、親族間トラブル、介護、精神科医療、生活保護、相続と相続人の消息不明、隣地との境界と塀問題、就労と36協定、借金、居宅事業所の管理、アルコール依存症、仮想通貨問題と連帯保証人、成年後見制度、公正証書（遺言書）地域住民間トラブル、友人による財産管理、消費者被害等おひとりがいくつもの困りごとを抱えている案件が多く、領域を超えた専門職が必要に応じ、複数人で相談を受けることでより早く、より良い解決へ向け対応ができたと思われまます。

③★バトンゼミナール（質の高い支援者の育成）

○勉強会と事例検討会

11月22日13時~17時45分 Zoom 日弁連主催「第19回高齢者・障がい者権利擁護の集い」

「大災害・コロナ禍を経験した今だからこそ改めて考える“インクルーシブ社会の実現”」

11月26日10時~11時 Zoom ぜんち共済主催「親なきあとの問題」

11月26日14時~17時30分 Zoom AS-J主催

「2022年度韓国・台湾・日本 高齢者・障害者権利擁護大会」

～意思決定支援をどのように考えていくか?～

12月21日13時30分~16時 Zoom おおいたボランティア・NPOセンター主催

「多様な主体との協働がつなぐ地域の創生」

令和5年2月11日13時30分~17時 12日9時30分~12:00 Zoom 第14回AS-J全国フォーラム

「強度行動障害と権利擁護支援」

④★バトンカフェ(定期：毎月第2日曜日：白杵商工会議所1階フロア 他不定期)

要支援者の早期発見早期対応のためと、居場所づくりを目的に開催。

- 定期開催 12回開催 (累計：71回) 参加者合計：298人 累計参加者数：1,445人
 - in下ノ江 0回開催 (累計：24回) 参加者合計：0人 累計参加者数：448人
 - in津久見 1回開催 (累計：11回) 参加者合計：59人 累計参加者数：283人
 - in佐伯 0回開催 累計参加者数：38人
- 合計開催数 13回 / 累計開催数 106回 / 参加者合計 357人 / 累計参加者合計 2,214人

⑤おたがいさま事業 食材と日用品の無料配布

地域見守りたい員にお願いして、白杵市と津久見市、大分市、別府市の高齢者の独居や2人暮らしの方、子育て世代・母子家庭の方、障がいをお持ちの方等へ直接お渡ししたり、地域の方や民生委員さん、区長さん、CWさんやCMさん、相談事業所や就労支援事業所、ヘルパーステーションの職員さんなど日頃から協働している関連機関の方々へ託しました。

- 7回目 4月7・8日(92セット) アルファ米、ケチャップ、缶詰(コーン・果物)、カルシウム飲料、お菓子、珈琲缶、消毒ジェル、マスクケースとマスク・ウエットティッシュ等
- 8回目 6月4日～6日(25セット) アルファ米(炊き込み・わかめ・白米各4袋ずつ)
- 9回目 10月30日～11月2日(220セット) α米、レトルトカレー、ポン酢、サツマイモ、ミカン、お菓子、マスク、消毒液、ウエットティッシュ、ティッシュ、ホッカイロ、衛生用品等
- 10回目 12月26・27日(101セット) 白米1升、アルファ米2袋、レトルトカレー2袋、お菓子、ホッカイロ2袋、マスク3枚、醤油、白だし、ドレッシング、ゴマポン酢、ポン酢、手指消毒液、アルコールウエットティッシュ、ティッシュ、トイレットペーパー、衛生用品等
- 11回目 令和5年2月27日～3月28日(500セット) アルファ米4袋、レトルトカレー4袋、消毒液1本、マスク個包装15枚をセットにして
- 12回目 3月18・19・21・25・26日(お弁当650個) ひとり親家庭等の子どもの食事等支援事業 (バトンごはん応援(美味しいお弁当)事業)

配布回数合計6回(累計配布回数12回) 合計配布数：1,588セット (累計配布数1,951セット)

⑥バトン見守り隊事業

バトンゼミナール・バトン市民後見人養成講座修了者が、支援者として見守り支援が必要な方のお手伝いをしました。(基本は1回/月電話と訪問です。)

- 1) 白杵市緑区 80代 女性 独居 認知症
- 2) 白杵市港町 80代 女性 独居
- 3) 白杵市大野 80代 男性 昨年妻他界
- 4) 白杵市白杵 70代 女性 独居 県外から姉妹を頼って移住
- 5) 白杵市白杵 70代 女性 独居 全盲
- 6) 白杵市北海添 70代 女性 独居 軽度認知症
- 7) 白杵市福良 80代 女性 独居 軽度認知症
- 8) 白杵市江無田 90代 男性 独居 軽度認知症
- 9) 白杵市新地 70代 女性 独居 片麻痺(脳梗塞後遺症)
- 10) 白杵市大野 70代 女性 独居 がん(ステージ4)

／ 合計10件

⑦バトン図書館

不要になった書籍を寄付していただき、無料で貸し出しを行います。貧困家庭の負の連鎖等が問題になっています。貧困から抜け出すための方法として、学力や知識を身につけることだと言われています。また、児童虐待等の早期発見にもつながる活動です。

今年度は、大分県遊技業協同組合様からブックオフコーポレーション株式会社様の仲介により中古本を寄贈していただきました。 / 貸し出し合計数：42冊

⑧バトン講師派遣事業

バトン講師派遣事業は、講師登録制で基本は60分2万円（状況に応じて変更もあり）で、登録者が受託する事業です。

行政や各団体、事業所などに、講義名、講義内容、講師名等の一覧表を配布して、依頼を受け日程等の調整を行います。

○10月7日(金)13時～15時30分 子ども食堂協議会 20人 「バトンカフェの取組み」

於佐伯市桜ホール

○11月15日(火)10時～11時30分 江無田江友会 20人 「権利擁護って何？」 於江無田公民館

⑨総合相談(随時何でも相談)

- ① バトンカフェで「なんでも相談会」を開催しました。
- ② 保健・医療・福祉・権利擁護に関する相談全般を随時受付けています。

相談件数：286回（累計相談回数 2,018回）

⑨総合相談(随時何でも相談) 延べ回数：2,018回

《成年後見に関する相談》

地域	臼杵市	津久見市	大分市	別府市	佐伯市	県外未定	合計
電話	18	21	9	6	4	5	63
来所	8	11	1	0	1	0	21
訪問	4	7	1	0	0	0	12
合計	30	39	11	6	5	5	96

《相続に関する相談》

地域	臼杵市	津久見市	大分市	別府市	佐伯市	県外未定	合計
電話	6	4	0	0	2	0	12
来所	0	0	0	0	0	0	0
訪問	0	0	0	0	2	0	2
合計	6	4	0	0	4	0	14

《消費者被害に関する相談》

地域	臼杵市	津久見市	大分市	別府市	佐伯市	県外未定	合計
電話	8	3	5	0	1	0	17
来所	2	0	0	0	0	0	2
訪問	1	1	0	0	0	0	2
合計	11	4	5	0	1	0	21

《虐待に関する相談》

地域	臼杵市	津久見市	大分市	別府市	佐伯市	県外未定	合計
電話	2	1	1	0	0	0	4
来所	1	1	0	0	0	0	2
訪問	1	0	0	0	0	0	1
合計	4	2	1	0	0	0	7

《その他の相談》

地域	臼杵市	津久見市	大分市	別府市	佐伯市	県外未定	合計
電話	32	17	11	8	11	13	92
来所	15	13	3	0	1	0	32
訪問	11	6	4	0	3	0	24
合計	58	36	18	8	15	13	148

《相談方法別件数》

地域	臼杵市	津久見市	大分市	別府市	佐伯市	県外未定	合計
電話	66	46	26	14	18	18	188
来所	26	25	4	0	2	0	57
訪問	17	14	5	0	5	0	41
合計	109	85	35	14	24	18	286



⑩行政職員・専門職相談員・ケアマネ・ケアスタッフのための相談窓口

*毎週木曜日 13時～17時 場所：バトン事務所 相談回数 83回 (累計相談回数)

⑩行政職員・専門相談員・ケアマネ・ケアスタッフのための 相談窓口



毎週木曜日13時～17時 場所：バトン事務所

地域	臼杵市	津久見市	大分市	別府市	佐伯市	県外未定	合計
電話	23	11	6	2	12	10	64
来所	8	4	1	0	0	0	13
訪問	4	1	0	0	1	0	6
合計	35	16	7	2	13	10	83

⑪死後事務委任契約

1件(補助類型(同意権付与)で受任の方)

⑫ボランティア・研修・視察の受入れ

◎夏休み学生ボランティア受入れ

8月7日 大分県立舞鶴高校2年生1名(バトンカフェ)

◎行政職員現場研修受入れ

7月10日・9月17日 令和4年度NPO現場体験研修：佐伯高等技術専門校 中津留 真史さん

◎視察受入れ

11月11日 福岡県 一般社団法人福智町社会福祉連携協議会 8名

令和5年

1月26日 大分みらい信用金庫 営業部副部長、みらいハートプラザおおいたプラザ長2名

2月13日 大分みらい信用金庫 専務理事、営業部部长、営業部副部長3名

⑬任意代理契約事業

⑭事業所と相談契約事業

契約により会社や事業所のヘルスマENTALケアや職員への相談支援をおこないます。現在0件。

⑮権利擁護支援実践協議会

⑯エンパワメント事業

3.法人内の取り組み

(1)会議の開催

【3者会】

① 5月11日(水) ②6月3日(金) ③9月2日(金) ④10月24日(月)

⑤令和5年1月17日(火) ⑥3月9日(木) / 計6回開催

【理事会】

4月15日(金) 令和4年度第1回理事会

11月28日(月) 令和4年度第2回理事会

3月30日(木) 令和4年度第3回理事会 / 計3回開催

【総会】

4月26日(水) 第6回定期総会

(2)支援者の拡大

正会員 17名(前年17名)
賛助会員 103名(前年39名)
寄付額 1,568,261円(前年1,334,040円)

(3)入会団体【入会日】

- ① as-j全国権利擁護支援ネットワーク【H29.(2017年)1月17日～】
- ② 岡山ネット懇【H29.(2017年)1月17日～】
- ③ おおいた子ども食堂ネットワーク【R4.(2022年)01.19～】
- ④ 大分県人権相談ネットワーク協議会【R4.(2022年)04.28～】
- ⑤ 孤独・孤立対策官民連携プラットフォーム【R4.(2022年)11.05～】

(4)委員会や研修会への参加

- 4月7日 白杵市公平委員会参加 於白杵市役所3階
- 5月7日 岡山ネット懇 10時～11時30分 Zoom「NPO法人おかやま UFEの活動と事例」酒井ひとみ
- 5月28日 NPO法人岡山意思決定支援センタービュー11時30分～13時30分 Zoom
「チームによる意思決定支援の検証」田中千枝子日本社会福祉大学客員教授
日本成年後見法学会 13時30分～18時30分 Zoom「意思決定支援と成年後見制度」
～成年後見制度における本人の尊重～意思決定支援～デンズイル・ラッシュ
(元イングランド保護裁判所首席判事)
- 7月25日 日本弁護士連合会「第2期成年後見制度利用促進基本計画に関する連続学習会(1)」
18時～20時 Zoom「これからの成年後見制度の在り方とは」～必要な時だけ使えないの?～
「第2期基本計画の概要」厚生労働省社会援護局地域福祉課成年後見制度利用促進室
「成年後見制度の必要性・補充性の原則」上山泰新潟大学法学部教授
「当事者や支援現場からの問題提起」安藤亨利用促進室専門官、久保厚子一般社団法人全国手をつなぐ育成会連合会会長、花俣ふみ代公益社団法人認知症の人と家族の会副代表理事兼埼玉県支部代表 コーディネーター赤沼康弘日弁連高齢者・障害者権利支援センター幹事・弁護士
- 7月28日 おおいたボランティア・NPOセンター「仲間を集める!資金を募る!運営理念・活動報告はこう創れ!」
- 8月6日 HPVワクチンの本当のことを伝えたい実行委員会 15時～17時 Zoom「薬害エイズ」
「生きる勇気、そして未来～薬害エイズ被害者、家族の思い」薬害エイズ原告 井上昌和・浅川身奈栄
- 8月27日 HPVワクチンの本当のことを伝えたい実行委員会 15時～17時 Zoom「薬害肝炎」
「薬害肝炎、私たちはなぜ夢を奪われたのか?薬害根絶への思い」薬害肝炎原告出口妙子
- 9月3日 岡山ネット懇 10時～11時30分 Zoom「クレーム対策」竹田航弁護士
- 9月14日「恍惚の人」的認知症観を変えた世界と日本の当事者たち～それを支えた黒子たち～
馬籠久美子 丹野智文先生(英国の国際会議での模様をビデオで)
- 9月17日 HPVワクチン薬害訴訟を支える会大分「HPVワクチン薬害訴訟学習会」14時～16時 Zoom
～提訴から6年の今とこれからの学ぶ～全国弁護士談共同代表水口真須美弁護士
- 9月21日 国連が驚いた日本の精神医療の「強制」と「支配」廃止のためのロードマップを考える"
東京アドヴォカシー法律事務所 所長 日弁連人権擁護委員 池原毅和先生"

- 9月28日 ジュネーブの「障害者権利条約」審査であきらかになった日本の障害福祉行政の実態"
日本身体障害者団体連合会会長／東北福祉大学名誉教授
全国ポリオ会連絡会運営委員・阿部 一彦 先生"
- 9月30日 独立行政法人福祉医療機構 13時～16時30分 Zoom
「地域共生社会の実現に向けた多様な主体による取組」～NPO、行政、地域住民、企業による連携の形～
- 10月1日 岡山ネット懇 10時～11時30分 Zoom「住居支援の活動状況について」井上雅雄弁護士
- 10月5日 病院の都合で投与された薬で死んでしまった星子ちゃんが切り開いた新しい医療の道"
医療情報の公開・開示を求める会代表世話人・元中医協委員 勝村久司先生
- 10月12日 盲目の身で司法試験に9回挑戦「夢は人を変える」がモットーの剛腕弁護士"
日本視覚障害者団体連合会会長・つくし法律事務所所長 竹下 義樹 先生"
- 10月19日 逮捕歴15回のお元非行少年が後輩の立ち直りを支援する全国組織をつくるまで
日本自立準備ホーム協議会代表理事 高坂朝人先生
- 10月26日 パラリンピックは、「なに」を残せた？車いすユーザーの解説委員が見た2020
NHK解説委員 竹内 哲哉 先生
- 11月2日 ネフローゼの体験とIT技術で患者会を応援そしてこの講座のなくてはならない影の応援団
患者さんの困りごと相談窓口「どうするBOOKS」エイ・ステーション代表・池上英隆先生"
- 11月5日 岡山ネット懇 10時～11時30分 Zoom
「第2期基本計画から見えてくる成年後見制度の未来像について」竹内俊一弁護士
- 11月9日 "障害と女性～「私たち抜きで私たちのことを決め」られてきたこれまで歴史的に、国際的に
比較しながら考えてみると 国際医療福祉大学教授 大熊由紀子
- 11月13日 精神病院の不条理シリーズ 13時～16時 Zoom
「精神病院の不条理 第7弾：精神病院訴訟の裁判官を裁く！」
- 11月16日 子ども家庭養育推進官民協議会 15時～16時45分 Zoom
「2022子どもの家庭養育推進官民協議会シンポジウム」
- 11月16日 「町医者をも乗せ、名医だった父上の認知症、妹さんの知的障害を臨床に、教育に、研究に、
まちづくりに生かす」東京医科歯科大学臨床教授・昭和大学医学部臨床教授
松村医院院長・松村真司先生
- 11月17日 一般社団法人 愛知県医療ソーシャルワーカー協会 14時～16時30分 Zoom
「身寄りのない人」の支援を多機関で考えるシンポジウム
一政策動向を学び、社会資源のはざまをどう埋めていくのかを考えるー
- 11月20日 白杵市『白杵市認知症市民フォーラム』～認知症フレンドリー社会～
- 11月22日 山口県弁護士会「第19回高齢者・障がい者権利擁護の集い」13時～17時45分 Zoom
「大災害・コロナ禍を経験した今だからこそ改めて考える“インクルーシブ社会の実現、」
○基調講演「コロナ禍の時代におけるインクルーシブ社会の実現～障害者権利条約を中心に～」
（崔 榮繁 氏（DPI日本会議議長補佐）
○基調報告「重い知的障害のある方の地域での暮らしを考える～虐待の現状と地域移行への課題～」
勝井 陽子 氏（山口県立大学社会福祉学部社会福祉学科准教授）
○アンケート報告「高齢者施設・障害者施設において、コロナ禍が外部との交流等にどのような影
響を与えたかに関するアンケート調査の報告」山口県弁護士会
○パネルディスカッション テーマ「地域共生社会の実現に向けた権利擁護支援」
パネラー
山口県知的障害者福祉協会会長／障害者支援施設施設長 岩武 毅 氏

國學院大學法学部教授／弁護士

佐藤 彰一 氏

明石市役所常勤職員／弁護士／社会福祉士

青木 志帆 氏

オブザーバー

崔 栄繁 氏、勝井 陽子 氏

コーディネーター

(実行委員会委員長) 山口 正之 氏

- 11月26日 ぜんち共済「親なきあとの問題」10時～11時
as-j「2022年度韓国・台湾・日本 高齢者・障害者権利擁護大会」14時～17時30分 Zoom
～意思決定支援をどのように考えていくか？～
- 11月30日 2万人に1人のアルビノ 当事者の視点を活かしたリハビリテーション
障害×ゲーム×アクセシビリティの可能性
愛知教育大学准教授・日本アルビニズムネットワーク 相羽 大輔 先生
- 12月7日 聴覚障害のあるリハビリテーション医だから見えたもの
聴覚障害をもつ医療従事者の会代表 関口 麻理子 先生
- 12月14日 「ゲイが親になる」 北欧スウェーデンと選択ができる社会 YouTube「ふたりぱぱ」チャンネル
「ふたりぱぱ」の みつつん先生
- 12月21日 人工呼吸器をつけながら、さまざまな表現法を編み出して 地域で生きる100人の仲間たち
呼ネット代表・おだやか福祉会理事長 小田 政利 先生
- 12月21日 13時30分～16時 Zoom おおいたボランティア・NPO センター主催
「多様な主体との協働がつなぐ地域の創生」
- 12月28日 社会を変えたゲストの物語に共通するもの
医療福祉大学教授 大熊由紀子
- 令和5年
- 2月3日 食品衛生責任者研修会 9時～17時 4名(吉田明美、高橋恵子、吉田早苗、首藤ヤス子)
- 2月11日 13時30分～17時 12日9時30分～12:00 Zoom 第14回 AS-J 全国フォーラム
「強度行動障害と権利擁護支援」
- 2月20日 令和4年度おおいた人権相談ネットワーク協議会相談担当職員研修会
「相談者に寄添った傾聴・相談対応について」
ここいろ hiroshima 共同代表 當山敦己
- 3月6日 「NPO・企業・地域・行政の協働を進めるポイントとは」
講師 協力世界 代表 松原 明
会場：アイネス2F 大会議室 (大分市東春日町1-1 NS大分ビル)
- 3月14日 令和4年度孤独・孤立対策官民連携プラットフォーム研修会
「地方における官民連携の在り方について」
「孤独・孤立対策官民連携プラットフォーム」と「分科会」の紹介、孤独・孤立対策の重点計画
の説明：吉川晃氏(内閣官房孤独・孤立対策担当室)
分科会3の紹介：活動紹介と現在の議論内容の報告(孤独・孤立相談ダイヤル試行結果の報告を
含む)＜小西慶直氏(一般社団法人日本いのちの電話連盟 孤独・孤立相談プラットフォーム事務
担当)
自治体独自の相談窓口事例報告＜中村礼氏(鳥取県福祉保健部ささえあい福祉局福祉保健課地
域福祉推進室 課長補佐)
パネルディスカッション
「効果的な相談窓口体制整備と望まれる連携の在り方」

<モデレーター>

- ・大西連氏(内閣官房孤独・孤立対策担当室 政策参与)

<パネリスト>

- ・高橋良太氏(社会福祉法人全国社会福祉協議会 地域福祉部長/全国ボランティア・市民活動振興センター長)
- ・遠藤智子氏(一般社団法人社会的包摂サポートセンター(よりそいホットライン) 事務局長)
- ・勝部麗子氏(社会福祉法人豊中市社会福祉協議会 事務局長)
- ・菊池馨実氏(早稲田大学理事・法学学術院教授)